



# もも組だより <5月号>



平成30年5月18日 ことり保育園 担当:海老澤

爽やかな風が吹き、木々の緑が美しく過ぎゆく季節となりました。  
保護者の方々と離れる際、泣き声の大合唱をしていた新園見のお友だちも  
いっしょに保育園での生活に慣れ、笑顔を見せてくれるようになりました。

日課活動では、動物・色のフラッシュカードがお気に入りようで、  
元気な声で言うてくつたり、指を差して反応してくれてたりします。  
ブロック遊びの前に、ブロックを一つ見せ「これは何色かな」と聞くと「あお」  
「だいだい」などと色を見て答えています。間違っているときには、「〇〇色だね」と  
正しい色を伝え、日々の生活の中で、色や物の名前を覚えていけるようにして  
いきたいと思っています。

天気の良い日には、園庭で戸外遊びを楽しんでいます。保育者が  
「外に出るよ」と声を掛けると、テラスに出て来て靴を取り、保育者に渡す  
姿が見られます。「自分で履けるかな」と声を掛け、マジックテープを外して  
あげると靴に足を入れようとしています。戸外遊びでは、シャベルを手にし  
型抜きに砂を入れて私達に「どうぞ」と渡してくれます。保育者が食べる  
真似をし、「ごちそうさま」と言うと、新しい物をまた持ってきてくれます。  
やりとりを楽しみ、今後も子ども達の伝えたいことを理解しよから関わり  
を深めていきたいと思っています。